

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築・不動産マネジメント小委員会	主 査 名：前島彩子 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：浦江真人
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築はその完成時から不動産となる。建築ストック時代では、つくる時の「建築」とそれが完成してからの利用時の「不動産」の連携体制構築はより重要なテーマである。そこで、建築を不動産として適正にマネジメントしていくための建築と不動産の連携体制の構築を目指すことを目的とする。</p> <p>初年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建築と不動産をつなぐ事例整理。 ● 就業や生活スタイルの変化、新たなニーズに対応した建築・不動産の適正管理、事例調査、DX 活用の事例整理。 <p>2 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建築と不動産をつなぐ事例視察・ヒアリング調査。 ● 地域マネジメントと建築マネジメントの連携、DX 活用による価値の向上・創出事例調査 <p>3 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建築と不動産をつなぐ事例をまとめ、建築と不動産、地域のマネジメントの有機的な連携を実現するための職能、法制度、金融等の枠組みの検討 ● 協議会開催 <p>4 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 就業や生活スタイルの変化等に対応した建築・不動産の適正管理、価値創出を実現するための仕組みの構築のに向けた検討 ● 出版セミナー開催 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし	
	<p>主査：前島彩子(明海大学)</p> <p>幹事：藤本秀一(国土技術政策総合研究所)、森田芳朗(東京工芸大学)</p> <p>委員：三橋博巳(元日本大学教授、日本不動産学会顧問)、齊藤広子(横浜市立大学)、田村誠邦(アークブレイン)、秋山哲一(東洋大学)、中城康彦(明海大学)、堀裕典(岡山大学)、田島則行(千葉工業大学)、尾谷恒治(早稲田リーガルコモンズ法律事務所)、樋口秀(新潟工科大学)、松永千晶(福岡女子大学)、渡邊高章(合同会社アーバンギークス&合同会社鞆まちづくり会社)、橋本真一(日本建築積算協会)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2023 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 建築と不動産をつなぐ事例整理にむけて、具体事例の情報提供と意見交換を 2 回実施し、現地視察を 1 回予定している。</p> <p>2. 視察の回数を積み重ねできず、成果物の検討に取り組んだ。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 活動の成果物として出版を想定している。既存刊行物との差別化等を意識して、サンプル事例を取り上げ早い段階で成果物のイメージ化に取り組む意識であるが、魅力的なものに至っていない。</p>